

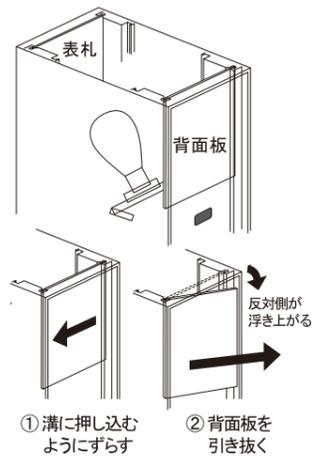
## 安全上のご注意

- 電球の交換やお手入れの際は、電源を切ってください。感電の恐れがあります。
- 点灯中や消灯直後の電球や器具は高温になっていますので、手をふれないでください。火傷の原因になります。
- 器具の改造、部品の変更は行わないでください。また、電球は「適合電球」の項の指定型番のものをご使用ください
- 煙・臭いなどの異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。感電・火災の原因になります。工事店、お買い上げの販売店、または当社にご相談ください。
- 電気工事が必要な場合には、電気設備の技術基準に従って有資格者がおこなってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ダイヤル錠にぶら下がらないでください。ダイヤル錠や取出口スライド扉を破損する恐れがあります。

## 取付け・取扱い方法

### 1. 電球の取付け・交換

- ポスト背面にある背面板の溝に専用工具を差し込み、左にスライドさせ、手前へ外してください。この時、背面板に傷が付かない様にご注意ください。

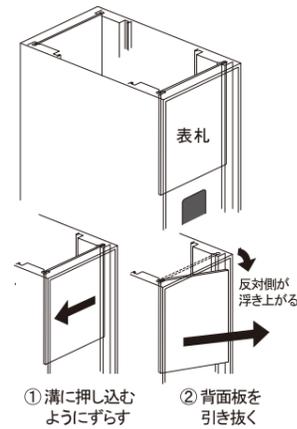


出荷時、電球は箱に入った状態で本体内部にテープで貼り付けられています。

- ポスト内部にソケットがありますので、電球をねじ込んでください。
- 背面板取付け時は逆の手順で行い、背面板を少し叩いて取り付けてください。また溝がある面を外側に向く様に注意し、両端の溝の位置が均一になる様に調整してください。

### 2. 表札部の取付け・交換

- 1.と同様に前面より表札板を外してください。
- 当社よりお送りした表札板を取り付けてください。



### 3. 郵便物取り出し口の開閉

- ポスト背面の郵便物取り出し口は上下スライド式で開閉するようになっています。ダイヤル錠の部分を持って上下に開閉してください。



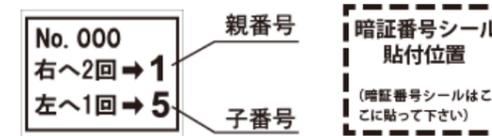
#### 注意!!

解錠時にダイヤル錠は回転させません。無理矢理ダイヤル錠を回転させるとダイヤル錠が破損することがあります。

- 取り出し口を開くときには、必ず一番下まで手を添えて動かしてください。途中で手を離すと、取り出し口下のクッション材を痛めることがあります。

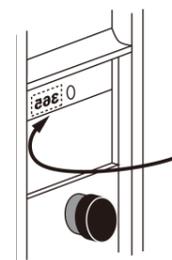
### 4. 解錠の方法

- 暗証番号シールの番号を見て、下記のようにダイヤルを回してください。
  - (1) ダイヤルを指定された方向に回して親番号に合わせます。
  - (2) 同じ方向にもう1回転させて親番号に合わせます。
  - (3) 逆方向に回して子番号に合わせます。



- 右回りで「1」に合わせ、もう1回転右に回して「1」に合わせます。次に左回りで「5」に合わせます。

#### ダイヤル錠ナンバー



- ・ダイヤル錠には個別の番号がついています。もし、暗証番号を紛失した場合には、ダイヤル錠ナンバーを確認して、ご購入いただきました建設会社、工務店にお問い合わせください。
- ・ダイヤル錠ナンバーのシールは郵便物取り出し口上部の板の裏側に貼り付けています。郵便物投入口側から奥を覗いてください。

### 5. 施錠の方法

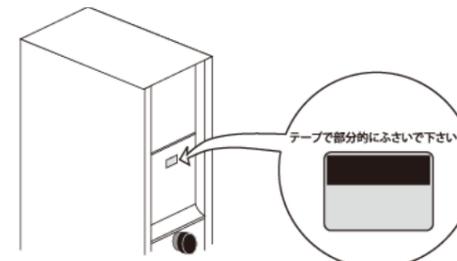
- スライド扉を閉じた状態で、ダイヤル部分を押し込み、左右どちらかに1回転以上回します。

#### 注意!!

施錠時、1回以上回転させないと、子番号を合わせただけで開く場合があります。

### 6. 明暗センサー（オプション）の調整

- 明暗センサー付きの場合、背面のアルミ部分に25mm×15mmの四角い穴があいています。この部分が明暗センサーの受光部になります。
- 街灯などの光が明暗センサー受光部に当たると、周囲が暗くなっても蛍光灯が点灯しないことがあります。そのような場合には明暗センサー受光窓を光を透過しないシールやビニールテープなどで一部覆ってください。



## 適合電球

LED電球 60ワット形電球タイプE26口金

蛍光電球の取扱いについては、付属の説明書をご参照ください。

## メンテナンス

- 本体の拭きあげを行う場合、必ず付属の布をお使いください。新たに必要の場合は当社までお問い合わせください。
- 本体の拭きあげを行う場合、必ず水洗いを行い付着している砂やホコリ等を洗い流してください。そのまま拭くと傷が入る恐れがあります。
- 水洗いを行う際は必ず電源を切り、中の郵便物は取り出してください。

## 消耗品

- 背面郵便物取り出し口下部の、ゴム製クッション材は消耗品です。ひびがはいたり、つぶれたりした場合は、販売店または当社までご連絡ください。

